



平和資料館 草の家 だより

No.171

2026 年 6 月 10 日 発行



草と草の根の連帯をあらわす
草の家のシンボルマーク

〒780-0861 高知市升形 9-11 Tel 088-875-1275 Fax 088-821-0586

E-mail grh911@dream.jp HP <http://www.maroon.dti.ne.jp/kusanoie/>

2026 ピースウェイブ in こうち 第 48 回戦争と平和を考える資料展 ＝「戦争か平和か 若者に銃を持たせない」に向けて＝

「平和資料館・草の家」館長 出原 恵三

1945 年 7 月 4 日 1 時 52 分から 1 時間、高知市は B29 爆撃機 125 機による無差別爆撃により市街地の大半が焼き払われ 500 人近くが亡くなりました。この惨禍を忘れないために 1979 年 7 月に第 1 回高知空襲展が開催され、以来、毎年実施し、今夏で 48 回を迎えます。平和を希求する市民のみなさまのご協力の賜です。

周知のように今の日本は、戦後政治の根幹としてきた恒久平和主義を捨て去り、大変危険な戦争国家への道を突き進んでいます。第二次安倍内閣から顕著となりましたが、高市政権になって頂点に達しています。「存立危機事態」発言、年限と区切った改憲発議、「安保 3 文書」の年内改定、先月末には国民監視の「国家情報会議」設置法が成立しました。長距離ミサイル配備など際限のない軍備増強を進めるとともに南西諸島を中心に中国を対象とした演習が繰り返されています。

今、私たちは戦後最大の歴史的岐路に立たされており、日本が再び戦争の加害者になりかねない状況にあります。

そこで今回の「資料展」のタイトルは「戦争か平和か 若者に銃を持たせない」としました。ここまで事態がエスカレートしてきた要因は、アメリカの対中国戦略に日本政府が積極的に追従、協力している構図にあります。しかしそれだけでなく近代日本が国としてきた富国強兵路線に基づく一連の侵略戦争の総括ができていないことにもあると思います。日清戦争や日露戦争など明治の戦争の実相が国民はもとより軍人にも共有されることなく虚像に支配されて日中戦争やアジア太平洋戦争を始めました。そして今また「昭和 100 年式典」に象徴されるように昭和の戦争の実相・本質を隠蔽して新たな戦争準備を進めています。過去の戦争を検証し真実を知ることによって正しい判断力を身につけることが可能になると思います。「資料展」では、戦前・戦中に戦争がどのように伝えられ、国民を戦争に動員していったのか実物資料を展示します。特に「国家情報会議」設置法に関しては、戦時中に国民監視のために作られた「防諜紙芝居」を拡大しました。1930 年代前半の高知には戦争の本質を見抜き命懸けで反対し警鐘を鳴らした青年たちがいました。戦前の日本の良心とも言うべき青年たちにも焦点を当てました。「台湾有事」や中東の動向についても写真や解説を行います。是非お運び下さい。

2026 ピースウェイブ in こうち「第 48 回戦争と平和を考える資料展」

戦争か平和か 若者に銃を持たせない



中国の戦場に送られる兵士たち
(1937 年 8 月高知駅)

無言の帰還
(1937 年 10 月(祝)高知市勸業)



6/27(土)～7/5(日)
9:30～17:00

最終日は 15:00 まで※月曜休館

会場
高知市立自由民権記念館
高知市棧橋通 4 丁目 14-3
☎ 088-831-3336



主催 ▶ 平和資料館・草の家

高知県高知市升形 9-11

☎ 088-875-1275 / fax 088-821-0586 ホームページ www.maroon.dti.ne.jp/kusanoie/

＜ 展示内容 ＞

高知大空襲 戦争に反対した人々
日本国憲法 「スパイ防止法」
中東の動向 「台湾有事」
戦没者・戦争遺児
戦前・戦中の資料 など

「平和資料館・草の家」2026 年度総会を開催

「平和資料館・草の家」は2026年4月26日(日)、2026年度総会を開催し31名が参加しました。総会では「2025年度活動の報告」とともに「2026年度活動方針」が提案され確認されました。

なお、2025年度決算や2026年度予算、役員の提案も行われ全て確認されました。



総会に先立ち、高知法律事務所の近藤恭典（やすのり）弁護士を講師に、「高市政権がねらう憲法改正とスパイ防止法」をテーマに「改憲を巡る情勢とそのねらいに」について講演をしていただきました。(写真左)

総会終了後の懇親会では手作りの料理とともに交流を行い、「近藤弁護士の話しはとてもよかった。『改憲は許さない』運動をもっと広げないかん」と話しがはずみました。

2025 年度活動報告は次の通りです。

1. 力による支配を強引に進め、歴史的に構築されてきた国際合意・秩序を破壊するトランプ政権に世界の人々と連帯し抗議の声をあげていきます。

- ◎ 2026年3月6日、アメリカ大使館宛に「アメリカとイスラエルによるイランへの軍事攻撃に対する抗議声明」。総理大臣宛「日本政府はトランプ大統領による国際法違反の一連の軍事行動に抗議するとともにイラン攻撃を即時中止するよう求める要請文」を送付。「大軍拡NO！イラン攻撃即時停止を求める緊急県民アクション」（3/19 県庁前・約40名）などに参加。
- ◎ 「憲法アクション」の「呼びかけ人会議」や「19行動」（中央公園北口）に参加。その後「憲法アクション」は10年の区切りで2ヶ月に一度に開催する室内学習会に切り替えて実施。



「3.11を忘れないこうちアクション」
はりまや橋交差点で報告（2026/03/07）

2. アメリカの世界戦略のもと中国を仮想敵国に仕立てた戦争準備は新たな段階に入り、日本が先制攻撃を行しかねない危険な状況に至っています。

「中国脅威論」、「台湾有事論」を克服し戦争反対の世論の構築に努めます。

- ◎ 「郷土の軍事化に反対する県民ネットワーク」の幹事会に参加。
- ◎ 高知空港に居座る米軍機の問題について、「空港のなし崩しの軍事利用」抗議集会（4/11 高知空港40名出席）。高知空港に居座る米軍機問題緊急記者会見（4/25）の実施。「高知空港の特定利用空港指定」に関する高知県への申し入れ（高知県総合企画部8/06）に参加。
- ◎ 「台湾有事」を想定した自衛隊の「核の脅し」要求に抗議する緊急集会。「米軍とオーストラリア軍とともに自衛隊が実施する大規模統合演習」について高知でも実施することについて中止を求める知事申し入れ（10/15 高知県庁12名）、「自衛隊統合軍事演習の中止を求める緊急アピール集会」（10/16 県庁前交差点50名）、須崎港における自衛隊訓練に抗議する集会（10/20 須崎市・はますし前50名）、自衛隊高知駐屯地における日米豪合同軍事訓練抗議集会（10/24 高知駐屯地前20名）、はりまや橋四銀前宣伝（11/29 25人出席）などに参加。
- ◎ 「郷土の軍事化に反対する高知県連絡会」総会（4/12 オーテピア高知図書館）や、大軍拡反対学習会（4/12 高知城ホール 11/26 県庁西庁舎県職労会議室）に参加。



高知空港での抗議集会（2025/04/11）

3. 憲法の蹂躪・空洞化を許さず、立憲主義、民主主義を取り戻す活動を推進します。

- ◎ 「9条の碑をつくるこうちの会」（仮称）準備会（2025.1/15 草の家）が開催され、結成準備会（6/6）、「9条の碑をつくるこうちの会」結成総会（6/21 高知県人権啓発センター 86名）

を開催し、記者会見（11/7）を行い全県に呼びかけた。

- ◎ 「9条の碑をつくるこうちの会」は白神優理子弁護士を講師に学習交流会を開催し、3/21 高知城ホールでオンラインを含め 124 名参加、3/22 には四万十市社会福祉センターで 63 名参加。
- ◎ 「9条の碑をつくるこうちの会」幹事会や事務局会議を開催。
- ◎ 憲法施行 78 周年「4・27 憲法集会」（4/27）、「憲法公布 79 周年県民のつどい」（11/3）、「第 31 回 12・8 平和のつどい」（12/7）、「建国記念の日」に反対し日本の今と未来を考える集い（2/8）へ参加。
- ◎ 「日本学術会議法案」の廃案を求める声明を発表（5/7）



県庁記者クラブでの会見（2025/11/07）

4. 被爆 80 年に向けて、「核兵器のない世界」の実現をめざす

- ◎ ビキニデー in 高知 2025 核被災フォーラム室戸（5/10～5/11 迄全体で 215 名参加）に参加。
- ◎ ビキニ被爆船員訴訟（3/6 第 14 回口頭弁論）
- ◎ 被ばく 80 年・県民のつどい（8/30 自由民権記念館）

5. 食料自給率の向上と地球環境の保護に取り組む

- ◎ 香美市香北町谷相等への「巨大風力発電所建設計画に反対する署名」に取り組む。

6. 原発をなくし「福島」を繰り返さない

- ◎ 「原発なくす会」の「世話人会議」に参加（8/29・10/02）し、総会（6/1 自由民権記念館）や「まもろう平和なくそう原発 in こうち ACT11」（12/6 高知市立中央公園）に参加。
- ◎ 「3.11 を忘れないこうちアクション」や「3.11 メモリアルキャンドルナイト」（03/11 高知市役所前・約 40 名）の一連の取り組みに参加。

7. 戦後 80 年、改めて日本近現代史を学び東アジアの人々と共有できる歴史像の構築に寄与する

- ◎ 2025 年度「8・15 戦争を語りつぐつどい」実行委員会（5/12 県教組会議室）に参加し、「8・15 戦争を語りつぐつどい」（8/15 高知県人権啓発センター133 名）を開催。
- ◎ 満州事変 94 周年日中不再戦碑建立 33 周年記念のつどい（9/14 碑前 31 名）を開催。（高知県知事、高知市長よりメッセージ）
- ◎ 「七三一部隊罪証陳列館開館 40 周年」へ祝意メッセージ録画収録（3/03）し送信（3/06）



建立 33 周年記念のつどい（2025/09/14）

8. 戦争遺跡や関連資料の調査・保存、整備、活用を推進する

- ◎ 朝倉の「陸軍忠霊塔」調査を 12 回実施し、調査開始から 33 回となる。計画していた日が雨天などの場合は資料整理を行い、参加者との懇談も実施。鵜来島調査（5/1）も実施。
- ◎ 戦争遺跡保存全国ネット主催の第 28 回戦争遺跡保存全国シンポジウム（8/23～8/25 迄 長野県松本市 6 名参加）や、大久野島見学と交流（12/6 参加 22 名出原館長）に参加。初めて開催される「日帝戦争遺跡ネットワーク第 1 回全国シンポ」（韓国・仁川 10/18～19 迄 出原館長）に参加。
- ◎ 戦争遺跡めぐり～バスツアー～（8/30 高知大学農学部ほか 22 名）実施。宿毛市での戦争遺跡講演（9/21 出原館長）。女性「九条の会」高知・平和ツアー（11/20 須崎市・福井康人理事）の講師派遣。NHK 放送センター「戦争遺跡の保存」について取材（7/25 高橋俊雄解説委員）
- ◎ 宿毛市宇須々木の戦争遺跡フィールドワーク（3/19 出原館長）



高知海軍航空隊の耐弾通信所跡（地下通所）
（高知大学農学部・物部キャンパス 2025/08/30）

9. いのちとくらしを守り、地域の歴史と文化を生かしたまちづくりを推進する

- ◎ 「生活と平和を守る高知市民の会」の定例会に参加し、公共交通、教育問題、福祉・医療、公共施設などで、市長・教育長との懇談（8/21・11/14）。関博之医師（土佐市民病院）を講師に「加齢性難聴を学ぶ」学習会（8/30）を取り組みました。

- ◎ ソーレネットワーク、学習と交流（10/05）や「ソーレまつり」にパネル展示などで参加。
- ◎ くらしと協同の研究所『季刊 くらしと協同』2026 春号に、草の家の取り組みが 10 頁にわたって紹介される。

10. 日本で最初の民主主義運動である自由民権運動の研究・顕彰に努め、その教訓を普及するため、高知市立自由民権記念館友の会の運営に参加し、取り組みを推進しました。

- ◎ 講演会の取り組み
友の会総会後の記念講演会(4/29)、第 24 回「県詞の日」記念講演会(10/18)を開催
- ◎ 民権史跡探訪を実施（11/15）「立志社から憲政之国の碑まで歩こう」案内人：公文豪氏
- ◎ 第 25 回「民権風まつり」（小学生対象：風づくり 12/21、風揚げ 26 年 1/4）実施
- ◎ 顕彰の取り組み（兆民忌 12/13、無天忌 26 年 1/23 を実施、秋水忌 26 年 1/24 に参加）

11. 2025 年は治安維持法施行から 100 年、反戦・平和の活動家の顕彰や新たな資料の発掘を行う

- ◎ 槇村浩・碑前祭（6/1 槇村浩の詩碑「間島パルチザンの歌」前、10 名ほかマスコミ多数）と槇村浩・墓前祭（9/3 槇村浩墓前 11 名）
- ◎ 「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟高知県本部」主催の講演会（4/26 自由民権記念館）
- ◎ TBS「報道特集」（毎週土曜日 17:30～放送）日下部正樹キャスターと撮影クルーが草の家と資料展を取材（6/28～29 迄）。



TBS「報道特集」撮影クルーの取材の様子
(2025.06.26-27)

12. 平和資料館・草の家として、内容を充実、発展、役割を発揮する

- ◎ 「2025 年ピースウェイブ in こうち」と、「第 47 回戦争と平和を考える資料展」
04/12 「第 47 回戦争と平和を考える資料展」第 3 回実行委員会
06/28 阿部岳（沖縄タイムズ編集委員）講演会（自由民権記念館 100 名）
06/28 第 47 回戦争と平和を考える資料展（～7/8 迄自由民権記念館 463 名）
06/29 「第 43 回平和七夕まつり」と「ピースウェイブスタートのつどい」（京町商店街）
07/01 第 41 回平和美術展（高知県立美術館ホール～7/6 迄）
07/04 第 21 回高知市平和祈念式追悼集会（「高知市平和祈念の碑」80 名）
07/04 灯ろう流し（鏡川河川敷・鏡川みどりの広場 14 名）
07/05 青木茂講演会「中国人強制連行・強制労働と万人坑」（自由民権記念館 100 名）
07/05 2025 ピースアクション in こうち（高知県立美術館ホール 270 名）
07/05 高知市民劇場第 375 回例会（県民文化ホール）
07/05 2025 ピースアクション in こうち（高知県立美術館 270 名）
07/06 第 38 回反核平和コンサート（県民文化ホール 312 名）
07/27 平和七夕まつり・撤収（京町商店街）
08/15 8・15 戦争を語りつぐつどい（高知県人権啓発センター133 名）
08/30 戦争遺跡「掩体ほか見学会」バスツアー（22 名）
08/30 「戦争と平和を考える資料展」「平和七夕」ご苦労さん会（えん楽）
- ◎ 「平和資料館・草の家」36 周年創立記念（11/11）、新年会（2/1 約 50 名）
- ◎ 「平和資料館・草の家」の会員数について、2025 年度の期首（2025. 04. 01）は 502 名でスタートし、1 年間で 15 名（前年度 23 名）【県内 8 名・県外 7 名】の会員拡大となりました。
しかし、「草の家だより」の不達により確認のため電話するも「不通」をはじめ、死亡などで 26 名（前年度 50 名）【県内 16 名・県外 10 名】が退会となり 2026. 03. 31 現在 491 名となりました。
- ◎ 草の家だより「No167」から「No170」の年 4 回発行し、「No168」号から外注印刷にしてカラー版で発行をスタートしました。「文字がシャープになり見やすくなった」、「写真がカラーになり映えるようになった」などの感想がよせられました。
- ◎ 草の家・総会（5/18 草の家 27 名・懇親会 21 名）
- ◎ 草の家・理事会（4/24・9/27・12/25・3/25）
- ◎ 草の家・常任理事会（理事会を開催しない月 8 回）
- ◎ 草の家・事務局会議（毎月 1 回開催）



- ◎ 追手前高校・総合的研究「人生の先達からの聞き書き」発表会（3/11 追手前高校・写真上）
- ◎ NHK 高知取材「トランプ・高市首脳会談」への見解（3/19 岡村名誉館長）

<その他>

- ◎ 草の家を世界に繋げていただいた「山根和代」さんが逝去（7/17）されました。山根和代さん（1951－2025 年）の人生を偲び、感謝したいと思います（草の家だより No168 参照）
- ◎ 出原館長・中国へ「万人坑の調査」（6/15～22 日迄）

<講演会>（15 団体 600 名余）

- 06/01(日) 高知市母親大会（こうち男女共同参画センター・ソーレ 出原館長 150 名）
- 06/18(水) 嶺北平和委員会・総会での講演（岡村副館長 20 名）
- 07/15(火) 香美市企業等人権啓発連合会での講演（松村事務局員 50 名）
- 08/03(日) 愛媛県・宇摩母親大会（岡村副館長 50 名）
- 08/09(土) 「香長平野の戦争遺産展」（香美市立図書館かみーる 松村事務局員 30 名）
- 10/04(土) 高知県高校・障害児学校教育研究集会（高知県立高知工業高等学校 出原館長 30 名）
- 10/19(日) 2025 年須崎・中土佐母親大会（須崎市立市民文化会館 岡村名誉館長）
- 10/26(日) 南国市生涯学習課「高知の戦争遺跡」講演
（地域交流センターみあーれ 出原館長 30 名）
- 11/02(日) 第 26 回「いきいきフェスタ」新婦人講演（土佐市つな一で 岡村名誉館長 25 名）
- 11/22(土) 南国市岡豊での講演（岡豊ふれあい会館 出原館長 25 名）
- 12/08(月) 松山市平和資料館をつくる市民の会他「12・8 不戦のつどい」（岡村副館長約 70 名）
- 12/13(土) 退婦教・県退教共同学習会で講演（岡村副館長約 40 名）
- 02/21(土) 「退婦教・吾川会」講演（岡村副館長 40 名）
- 03/11(水) 「嶺北労働者農民大学」講演（岡村副館長 20 名）
- 03/29(日) 日本共産党鴨部後援会バスレク（震洋隊慰霊塔とグラマン視察 松村事務局員 23 名）

<語り部>（11 校 1 団体 2,457 名）

- 06/05(木) 高知市立朝倉小学校（全校生徒 570 名・小野由美子さん）
- 06/17(火) いの町立枝川小学校（全校生徒 250 名・岡村名誉館長と松村事務局員）
- 06/23(月) 高知市立秦小学校（全校生徒 600 名・岡村名誉館長と岡林副館長）
- 06/27(金) 高知市立鏡中学校（1～3 年生 23 名・松村事務局員）
- 07/02(水) 高知市立潮江小学校（全校生徒 240 名・岡村名誉館長 1～3 年・出原館長 4～6 年）
- 07/03(木) 高知市立長浜小学校（全校生徒 290 名岡村名誉館長・松村事務局員）
- 07/07(月) 高知市立三里小学校（全校生徒 113 名出原館長）
- 07/11(金) 高知市立久重小学校（全校生徒 53 名・岡村名誉館長）
- 07/12(土) 南国市立中央市民館（市民対象 30 名・松村事務局員）
- 07/15(火) 高知市立江ノ口小学校（180 名・岡村名誉館長 3～4 年・出原館長 5～6 年）
- 08/22(金) 高知市立鴨田小学校児童クラブ（全 120 名・岡村事務局員）
- 2026 年
- 03/10(火) 香南市・吉川小学校「平和学習」
（6 年生 8 名・松村事務局員）

<資料受領>

- ① 高知市 中越啓子さんより
 - ◎ 祖父 岡林信衛の日露戦争関連の資料他 写真、地図など 50 点余り
- ② 大豊町怒田 氏原学さんより
 - ◎ 「高校生の聞いた高知市空襲の記録」 昭和 48 年度 丸の内高校三年生 30 名が主母親から聞いた戦争体験を綴った記録
 - ◎ 日露戦争で補充召集、戦死した久松比佐美上等兵の葬儀における弔辞 50 点以上と証書など



潮江小学校で語る岡村名誉館長

(2025.07.02)

<来館者>

2025 年度の来館者は 124 名（記帳や日誌による集計）、県内 37 名・県外 75 名。
海外はイギリス・フランス・ドイツ・アメリカ・モンゴルなどから 12 名

4月	11名	7月	3名	10月	13名	1月	19名
5月	10名	8月	12名	11月	7名	2月	7名
6月	17名	9月	14名	12月	9名	3月	2名

2026 年度活動方針は次の通りです。

1. 大国による国連憲章、国際法を蹂躪する武力行使が続き歴史が数百年逆行した状況を呈し、軍事優先による混迷と不安が世界に広がっています。武力ではなく話し合いによる安全保障の構築に叡智を傾けることを強く求めます。

- ① アメリカのベネズエラ攻撃、アメリカとイスラエルによるイラン先制攻撃に強く抗議するとともに即時停戦と外交による解決を求めます。
- ② トランプ政権のキューバへの石油供給遮断やベネズエラ、メキシコ、コロンビア、グリーンランドなどへの恫喝など力による支配に断固反対します。
- ③ イスラエルによるガザ攻撃が停戦後も続いています。即時中止すること、イスラエル軍の占領地からの撤退、2 国共存を求めます。
- ④ イスラエルによるレバノン攻撃の即時中止を求めます。
- ⑤ ウクライナ戦争から 4 年が経過。即時停戦、ロシア軍の占領地からの撤退を求めます。



2. アメリカの世界戦略の下、高市政権が強行している戦争国家作りを許さず、混迷の度を増している国際社会に平和憲法をの精神を発信し平和秩序回復へイニシアチブをとることを求めます。

- ① 「台湾有事」を想定した「存立危機事態」発言の速やかな撤回と日中共同声明（1972）、日中平和友好条約（1978・2008）、日中共同声明（2008）などの精神に依拠した平和外交の回復を求めます。
- ② 大軍拡のための「防衛特別所得税」（「軍拡税」）や殺傷武器の輸出を可能にする「武器輸出 5 類型の見直し」に反対します。
- ③ 沖縄、南西諸島など日本列島全体で強引に進められている米軍・自衛隊基地強化、ミサイル基地、弾薬庫の増設、護衛艦へのトマホーク配備などに反対します。
- ④ 宿毛湾港、須崎港、高知港の「特定利用港湾指定」、高知空港など身近で進む戦争準備の情報収集に努め共有します。
- ⑤ 日米安全保障条約を廃棄し、対等の関係に立った日米平和友好条約の締結を求めます。



36,000 人が集まった国会正門前（2026.04.19）

3. 改憲勢力が衆議院で三分の二以上の議席を占め、憲法の改悪が現実の問題となってきた今こそ、平和と民主主義の砦としての日本国憲法の価値を広く浸透させると共に憲法擁護の運動に取り組みます。

- ① 「9 条の碑をつくるこうちの会」事務局として運動をさらに盛り上げ、来年の碑建立にむけて邁進します。
- ② 市民監視強化、法治主義や民主主義を侵害する「スパイ防止法」や「国旗毀損法」に反対します。
- ③ ジェンダー平等の社会を目指します・

4. 非核三原則を堅持し「核兵器のない世界」の実現をめざす

- ① 高市政権が進めようとしている非核三原則の見直しに反対し、非核三原則の法制化を求めます。
- ② 世界 74 の国と地域が核兵器禁止条約を批准しています（2025 年 9 月現在、署名は 95 ヶ国）。核禁条約を批准する政府を実現するために、日本原水協が呼びかける「非核日本キャンペーン」に賛同し積極に取り組みます。
- ③ ビキニ被ばく船員訴訟裁判（労災訴訟裁判・損失補償裁判）の支援と「ビキニデー in 高知 2026」実行委員会に参加し取り組みます。

5. 原発をなくし「福島」を繰り返さない。100%再エネの社会を目指します

- ① 未曾有の原発事故から 15 年、高市政権は再稼働を加速させ、次世代革新炉開発・設置表明など原発回帰へ突き進んでいます。エネルギー大転換を果たしている世界の流れに逆行する原

発回帰を直ちに中止し 100%再生エネルギー達成に道筋をつけるよう求めます。

② 福島原発事故による汚染水の危険性を学習するとともに海洋放出の中止を求めます。

③ 伊方原発の再稼働反対を求め「原発をなくす県民連絡会」に参加し取り組みます。

6. 食料自給率の向上と地球環境の保護に取り組む

① 米作、漁業など第一次産業を育成・発展させ自給率の向上を国政の中心課題とすることを求めます。

② 香美市香北町、大豊町等への環境破壊の巨大風力発電所建設計画に反対します。

7. 日本近現代史を学び東アジアの人々と共有できる歴史像の構築に寄与する

① 日本近現代史を系統的に学び歴史事実の隠蔽や歪曲を許さず、侵略戦争と植民地支配の実態を検証し、加害・被害・抵抗・創造の視点から歴史を学びます。

② 「徴用工」問題、「慰安婦」問題について、歴史問題の認識を深め、国際人権規約の視点から学び理解を深めます。

③ 韓国植民地歴史博物館、侵華日軍第七三一部隊罪証陳列館との友好交流協定にそって取り組みを進めます。



8. 戦争遺跡や関連資料の調査・保存、整備、活用を推進する

① 戦争遺跡の調査・研究を通して、戦争の実相を学び戦争遺跡保存の今日的意義を追求します。

② 資料の収集、整理、保管に努め、収蔵資料台帳の作成とデータ化を目指すとともに県内戦争遺跡の紹介や見学会の実施、「草の家」所蔵資料について情報発信します。

鵜来島の戦跡保全へ 宿毛市で市内外有志が除草
(2019. 08. 02 付高知新聞)

③ 鵜来島、朝倉忠霊塔納骨堂など戦争遺跡の調査を進め文化財指定など、行政に働きかけます。

④ 第 29 回戦争遺跡保存全国シンポジウム土佐清水大会の成功を目指します

9. いのちとくらしを守り、地域の歴史と文化を生かしたまちづくりを推進する

① 「平和と生活を守る高知市民の会」に参加し、民主団体と交流しながら住み良い街づくりに努めます。

② 教育施設、社会教育施設として重要な役割を果たすアスパルこうちのグラウンドの存続を目指します。

10. 日本で最初の民主主義運動である自由民権運動の研究・顕彰に努め、その教訓を普及する為高知市立自由民権記念館友の会の運営に参加し、取り組みを推進します。

① 講演会の企画

2026 年度総会後の「記念講演会」(4/29)

2026 年度「県詞の日」記念講演会(10/17 予定)

② 民権風まつり (小学生対象)(風づくり 12/20、風あげ 27/4)に協力

③ 顕彰の取り組み (兆民忌 12/13、無天忌 27 年 1 /23、秋水忌 1/24)

11. 反戦・平和の活動家の顕彰や新たな資料の発掘を行う

① 県内外の方に高知の誇るべき抵抗の歴史を紹介します。

② 榎村浩「碑前祭」(6/1)・「墓前祭」(9/3)を開催します。

12. 平和資料館・草の家として、内容を充実、発展、役割を発揮する

① 「2026 ピースウェイブ in こうち」、「第 48 回戦争と平和を考える資料展」、「第 44 回平和七夕」の成功を目指します。

② 資料の貸し出し平和学習など、講師派遣の要請に積極的に応えていきます。

③ 新たに 50 名の会員増を目指します。

④ 会費未納者をなくし、草の家の財政確立に取り組みます。

⑤ 『草の家だより』を年 4 回発行し、内容を一層充実させます。

⑥ 県内の様々な団体と連携・協同・参加を役割分担しながら取り組みます。

- ⑦ 上記活動の充実を図るために、常任理事会とともに総会を含めて年4回の理事会を開催し、草の家の担い手づくりに努めます。
- ⑧ 毎月開催する常任理事会、理事会において、ミニ学習会を行います。
- ⑨ 「平和と生活を考える高知市民の会」、「郷土の軍事化に反対する高知県連絡会」、「ソーレネットワーク」、「憲法アクション」などの民主団体に代表を送ります。
- ⑩ 高知市平和事業に参画します。
- ⑪ 2026年11月11日に「平和資料館・草の家」は創立37周年を迎えます。11月21日(土)もしくは22日(日)に「金英丸氏を囲むつどい」(仮称)を計画します。



国会正門前の集会に参加した金英丸氏
(2026.04.08)

「台湾有事」という前に !! <寄稿>

江崎 瑞枝 (草の家・理事)

「台湾有事」への言及が増えています。でもなぜ中国や日本やアメリカの国益や立場からだけ語られるのでしょうか。台湾が単なる駒のように扱われているように思われます。そもそも私たちは台湾のことをどれだけ知っているのでしょうか。

もともと台湾は先住民の暮らす土地でした。対岸の中国大陸・福建から多くの漢民族が移り住んで、17世紀に中華帝国の統治下におかれ、1684年からは清国領になっていました。

日清戦争で日本が戦勝国になると、1895年に日本に「割譲」されます。そこから台湾は日本の植民地となりました。台湾の人々は先住民の言葉や漢民族の台湾語ではなく日本語を使うよう強制され、生活習慣も日本的であることを求められました。日本人兵士として戦場に送られた若者もいます。

1945年、日本の敗戦で台湾は中国に「返還」されることになりました。この中国は中華民国(国民党)です。1947年に国民党の横暴への不満が爆発して全島的な反政府叛乱が起きましたが、蒋介石が南京から支援部隊を台湾に派兵して鎮圧しました。1949年には戒厳令が発令され、大陸で国共内戦に敗れた蒋介石の中華民国政府が台湾へ移ってきました。今度は日本語に代わって大陸の中国語が強制されました。1949年に中華人民共和国が成立。以後、大陸の中華人民共和国、台湾の中華民国、と分かれたままそれぞれの歴史を歩むことになり、基本的には今もこの状態です。戒厳令直後の「白色テロ」と呼ばれる時期、国民党政府による、戦前から台湾に住む人々への圧政は苛烈を極めたと言われます。その後政治や経済のシステムが大きく変化し、戦後38年も続いた戒厳令が解除されたのは1987年。民主化が進み、国民党独裁が続いた台湾で民主進歩党(民進党)が政権を取るなど情勢も変化してきました。このように台湾は大陸とは異なる道を歩んできました。



「割譲」「返還」は、当時の台湾社会に住む人々にとってはどういうことだったでしょう。支配者が清国から日本へ、日本から中華民国にかわったのは自分たちの意思ではありません。抵抗もし、迎合もし、仕方なく受け入れて生きたのかもしれませんが、日本統治を経験したのは三世代くらい前の人たちかもしれませんが、台湾の小説を読んでいると、現在もあちこちに日本時代の「痕跡」がくっきり残っていて胸を衝かれます。それは傷跡や悲哀だけとも限らず、懐かしい思い出として描かれることもあります。日本統治時代の経験は、今でも台湾の人々の歴史の捉え方に大きな影響を及ぼしていると思われます。

私たち日本の市民は、日本による植民地支配という加害に改めて目を向け、現在にいたる関係についてもっと学習し、2300万人の、台湾に住む人たちの主体性と意思を尊重する立場を示すことが大切なのではないでしょうか。(書籍を一冊ご紹介します・写真左)